



【懇親會】 第1日講演終了後

第2日 10月17日(土) 午前9時より

【午前の部】	分
32. 野附誠夫・清水一郎(東京天文臺)：乗鞍におけるトリウムランプを用いた新測光装置について	5
33. 長澤進午・積田壽久( )：暗線の見線速度の變化について	5
34. 山本一清(田上天文臺)：太陽面現象の不連続性について	
35. 上田 稔・堀井政三・花岡敬郎(生駒山太陽観測所)：種々の黒點タイプとコロナ5303Å線の強度との關係	10
36. 上田 稔・堀井政三・湯淺 淑( )：コロナ輝線 5694Å について	10
37. 高倉達雄(大阪市大)：太陽電波より見た太陽大氣層の電子密度および温度の分布について	10
38. 河鱈公昭(東大・理)：太陽電波と黒點の關係	7
39. 土屋 淳(東京天文臺)：Magneto-Ionic Equation における非線型項の取扱について	10
40. 古畑正秋・田鍋浩義(東京天文臺)：近接食連星の apsidal motion について	10
41. 北村正利(東京天文臺)：近接連星の反射効果が質量におよぼす影響について	10
42. 藤田良雄(東大・理)：C型星 WZ Cas, U Cyg, U Hya, RY Dra, V Agl のスペクトルの比較研究 (第1報)	10
43. 高窪啓彌(東北大・理)：星間物質の消長について	7
44. 齋藤澄三郎(京大・理)：高温星のモデル大氣について (II)	10
45. 上野季夫( )：高温星モデル大氣の平均連続吸収係數表について	10
46. 宮本正太郎( )：太陽のライマン・アルファ線について	10
47. 島村福太郎(東京學藝大)：恒星内部の元素分布について	7

【午後の部】

次の二つのシンポジウムが平行に開かれます

恒星天文学シンポジウム

1. 高瀬文志郎(東京天文臺)：統計天文学についての最近の諸問題
2. 石田五郎(東大・理)連星系の統計について

太陽スペクトルの研究綜合委員會シンポジウム

1. 川口一郎(京大・理)：太陽莖外スペクトルと彩層の問題
2. 松島 訓(京大・理)他：カルツーム日食に於ける閃光スペクトルの観測報告  
— 服部昭代讀

但し、材料未着の場合には次の講演に替える。

- 上野秀夫(京大・理)：太陽大氣に於ける亂流
3. 河鱈公昭(東大・理)：太陽面現象と磁場